

来週の“売り物”記事はこれ



2014年5月2日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

ハンセン病 偏見と闘う 中国「隔離村」の元患者たち 4日(日)



中国には「地図にない村」があります。「隔離村」「快復村」と呼ばれるところで、ハンセン病の元患者たちが肩を寄り添うように生活しています。日本でもつい最近まで、ハンセン病患者たちの人権が公然と踏みにじられていたように、中国でも厳しい隔離政策がとられてきました。日本の場合は、隔離された孤島などに施設は作られましたが、中国のそれは人里離れた山奥の地に開設されています。そうした施設は中国内に数百カ所あり、2万人の元患者が暮らすと言われています。水道が未整備だったり、劣悪な環境下だったりするところも少なくありません。隔離された元患者たちは、社会とのつながりを懸命に求めていました。中国でもその存在はほとんど知られていない隔離村のルゴを通して、「生きる」を考えます。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

存在感の薄い野党 立て直しの処方箋は 夕刊2面特集ワイド 7日(水)



与党が圧倒的多数の議席を占めているから当然なのかもしれないが、野党の存在感が薄い状態が続いている。原発問題や安全保障政策など個別の課題でみれば安倍政権の方向性に反対している人も多いにもかかわらず、国会は終始与党ペースで進んでいる。しかも、集団的自衛権の行使容認など、この国のかたちが変わろうとしている歴史的な転換点にさしかかっている今なのに、だ。野党を立て直すにはどうすればいいのか。各界の識者に、あなたが野党ならどう攻めるか、聞いた。

「Tokiko's kiss」 おんなのしんぶん面5日(月)



加藤登紀子さんの対談コーナー「Tokiko's kiss」。今月のゲストは、数学者の秋山仁さん=写真。初対面ながらすぐに意気投合し、数学と音楽の共通点や恋愛や親子の愛まで、幅広く語り合いました。



緑のカーテンで涼も味も 暮らしナビ8日(木)



ベランダにツル性の植物をはわせる「緑のカーテン」といえば、ゴーヤーやヘチマ、アサガオなどが定番ですが、最近は家庭で育てやすいように改良されたネットメロンやスイカの苗が人気をよんでいます。上手に実をならせ、涼しさだけでなく、収穫の喜びも味わえる植栽をご紹介します。

広がる父子手帳 暮らしナビ面9日(金)

育児に積極的にかかわりたいパパや、それを望むママが増える中、パパの子育てを応援しようと、地域の特色を活かした「父子手帳」を作成する自治体が出ています。育児のハウツーだけでなく、地域の先輩パパたちの声を盛り込んだものや、保育所に入りにくい地域ではその対応策を紹介するなど工夫を凝らしています。

